

令和6年度



# 園だより



文京区立根津幼稚園

## 春の自然の中で

園長 小島 喜代美

新緑の美しい季節となりました。入園・進級から3週間となり、新しい生活にも少しずつ慣れてきています。

3歳児りす組では、登園時には恥ずかしそうな表情を見せる姿もありますが、少しずつ朝の身支度を自分からするようになってきています。保育室では、先生が笑顔で見守ったり声を掛けたりする中で、自分のしたい遊具を使って遊ぶ姿が見られるようになってきました。5歳児ほし組と一緒に園内巡りをして、園庭の遊具の使い方を教えてもらいました。少しずつ、遊びの場が広がってきています。優しく手をつないで歩くほし組の成長も感じます。

4歳児はな組では、新しい保育室にある遊具を使ったり遊びの場づくりを楽しんだりしています。そして、戸外で遊ぶことが大好きな子どもたちです。天気の良い日には、りす組の時にも楽しんでいた「むっくりくまさん」の鬼遊びや、はな組になって使えるようになった園庭の乗り物や固定遊具に繰り返し挑戦する姿が見られます。



5歳児と3歳児と一緒に園内巡り

5歳児ほし組では、幼稚園の最高学年として、毎日のお休み調べやモルモットの「ちょみちゃん」のお世話などの当番活動を行っています。ほし組になり、生活グループ決めや、こいのぼり作りなど、友達と相談したり協力したりして進める活動も大切にしています。自分だけではなく、相手の考えも聞きながら進めていきます。また、ほし組では、進級して間もなく、根津神社のつつじ祭りに出掛けました。予定の日が雨で延期となり、つつじの花が丁度美しく咲いており、花の香りを嗅ぎながら散策をしました。そして、その後



モルモットと触れ合ってお世話 5歳児

には東大の三四郎池にも遠足に行きました。池の前で一休みした後、「去年の年長さんは行っていないんだけど、もっと先まで行けるかな」と話すと、「行きたい。頑張れる」の声。山あり谷ありのコースを選んで回ることにしました。「大冒険だね」と満面の笑みの子どもたち。体力がついてきたからこそその体験をして、やり遂げた喜びや満足感を味わいました。体験後には友達と一緒に相談して「大きな木」を描いていました。

5月は、さらに心地のよい季節です。園内で、砂場で砂や水を使った遊びの楽しさ、解放感を味わえるようにしていきます。また、畑やプランターで栽培物を育て、自然との関わりの中で、様々な発見を楽しめるようにします。3歳児、4歳児の学級は、親子遠足も計画しています。親子で楽しいひと時を過ごしましょう。

様々な体験を通して、子どもたちに豊かな心を育てていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。



根津神社のつつじ祭りへ 5歳児



東大三四郎池へ遠足「大冒険だね」 5歳児



帰る前の紙芝居を楽しみにしている3歳児



広い園庭で先生や友達と鬼遊び 4歳児